

No.459(一九九一年一月一・二日合併号)から
No.492(一九九一年二月二一日)まで

No.459(一九九一年一月一・二日合併号)

◇巻頭言◇

組合民主主義と日本の将来灰原茂雄

総括運動の徹底⑤

新しい年、情勢の特徴と任務岩井章

◇若き同志へ◇

たたかいと学習こそが前途を開く坂牛哲郎

日本の労働者の世界における地位原野人

国労組合員への手紙山下俊幸

◇兵庫の仲間からの報告◇

国鉄闘争支援の総決起集会開く

資料決起集会「基調報告」(要旨)

労働側の準備段階の特徴

―九一春闘をめぐる情勢の特徴と課題⑥―

編集部日より

No.460(一九九一年一月二一日)

◇巻頭言◇

組合民主主義と日本の将来灰原茂雄

総括運動の徹底⑥

社会主義は「片づいか」か近江谷左馬之介

―「ドイツ統一」にふれてみて―

闘う組合の共闘の重要性松永裕方

―連合一年が教えた運動強化の方向―

資料連合の政治委員会・中間報告(要約)

平和、民主主義、人権を三つの柱に

三木信之介

新幹線に大合理化提案

―労働強化は安全に直結―

書評「闘い学ぶ仲間たちと」

(灰原茂雄著)を読んで

◇読者からのおたより◇編集部日より

No.461(一九九一年二月一日)

◇巻頭言◇社会党大会の課題

中東での戦火は日本を直撃―今こそ憲法を厳守するとき―

問題提起

地区労再編と地域共闘の再構築

「子どもの権利条約」は大人の権利意識に直結―五千万署名は国労に学んで―

小党派分裂粗合の激励

「国労のみなさんがんばれ！」浜崎忠晃

運転しながらリ用リを足せ

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.462(一九九一年二月一日)

◇巻頭言◇第五次中東戦争とわれわれの課題

自民党の支持基盤は動揺から崩壊へ―統一地方選を勝ちぬくために―

内外情勢に危機感―日経連「労問研報告」から①―

はげしくすすむ人減らし合理化―民営化から五年、NTT職場は今―

全労協が中東戦争反対で緊急集会

資料1 全労協「一・二五集会」決議

資料2 湾岸での武力衝突に伴う

支援策について(連合、一月二四日)

社会主義協会「一月一五日の会」アピール

書評「自治体革新への展望」を読む

九一年度予算の問題点

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.463(一九九一年二月一日)

◇巻頭言◇前進の芽大きくした社会党大会

資料1 規約改正案の修正案書

資料2 運動方針案に対する意見書(五単産)

資料3 党規約改正に対する意見書(石井智氏他二七代議士)

資料4 中東・湾岸戦争の：特別決議社会党大会

国鉄闘争の展望―新たな情勢と国鉄闘争の新段階―

◇投稿◇要員がたりない、時短は夢のまた夢

大衆運動の構築は「下」から「上」へ

資料5 湾岸戦争に対する「連合」の対応

資料6 湾岸戦争に対する総評センターの態度

「新たな時代のあり方」うち出す―日経連

「労働問題研究委員会報告」から②―

読者からのおたより

No.464(一九九一年三月一日)

◇巻頭言◇第五次中東戦争と「連合」

人間としての尊厳を確立するために―全労協の権利宣言に寄せて―

資料労働者の権利宣言(第一次試案)

◇全通の仲間からの報告◇

反合研全国交流会を開催

鹿児島のみなさん、お世話になりました

―稚内闘争団が鹿児島地方闘争団と交流―

社会党全国大会と兵庫問題

読者からのおたより

No.465(一九九一年三月一日)

◇巻頭言◇社会党は都知事候補擁立を

第五次中東戦争、終結―戦争の背景とこれからの世界―

現在は歴史の激動期、歴史をつくる気概を―現情勢の特徴について①―

湾岸戦争―私の行動提起―自主的な行動が歴史をひらく―

統一地方選をかくたたかう

「教え子を再び戦場に送るな!」を

訴え拡げる

資料湾岸戦争即時停戦を求める緊急談話(大場昭寿日教組委員長)

九一春闘・労働側のとりにくみ状況

No.466(一九九一年三月二一日)

◇巻頭言◇血なまぐさい石油

「冷戦構造」終焉後の世界情勢

―現情勢の特徴について②―

◇三池CO闘争原告団からの報告◇

原告団運動、勝利のために

民営化を前にした営団地下鉄の職場情勢

解雇撤回JR復帰三・二〇中央集會に

参加しよう

◇国労闘争団の仲間からのたよりと報告◇

闘争継続の力

国労支援の輪の広がりを実感

―全国キャラバン、名寄闘争団からの報告

「連合」は組織拡大できるか

―労働省、労働組合調査から―

読者からのおたより

No.467(一九九一年四月一日)

◇巻頭言◇

闘争団の「心」を我が子に伝えたい
統一自治体選挙勝利、

自公民体制粉碎のために

湾岸戦争―米ソの対応と日本

崩れだしたJR総連

資料1 JR西への「申し入れ」(JR総連)

資料2 JRを混乱させる鉄産総連の策謀(JR総連)

中東湾岸戦争と労働組合

No.468(一九九一年四月一日)

◇巻頭言◇

岩井章氏が「新平和四原則」を提起

◇資料と解説◇

ソ連はどこへいく？

決定的な段階に入った政治闘争の激化

―ゴルバチョフ大統領の演説から―

政治の舞台に再浮上するソ連共産党

全通運動の現状と課題

原発事故の原因を「作業者のミス」に転嫁はさせてはならない

資料日本社会党美浜事故調査団「中間報告」

◇投稿◇全通よ、郵政省のペテンに怒ろう

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.469(一九九一年四月二一日)

◇巻頭言◇九一春闘前半戦を総括する

◇灰原茂雄氏が語る◇

国鉄闘争における我々の大義

―階級闘争としての民主主義闘争を―

資料

東京都知事選についての考え方(全電通)

ソ連が直面する三つの問題

小売価格改訂をめぐる

連邦条約―協調への歩み

全ソ国民投票の―数字の裏

ソ連共産党は危機を克服できるか

読者からのおたより

No. 470

(一九九一年五月一・二日合併号)

◇巻頭言◇メーデーと現在の労働運動

「力」を背景に春闘再構築を―九一「春闘」の結果から―

資料鉄鋼大手五社回答内容

社会党の教訓と課題―統一地方選前半戦の結果から―

資料1 後半戦に向けて全党へ訴えます(土井たか子)

資料2 社会党・道府県議会議員選挙結果一覧

資料3 社会党・政令市議選選挙結果一覧

資料4 第一二回統一地方選前半戦を終えて(連合)

資料5 「連合」推せん候補選挙結果

自民党支持基盤の動揺は必至

なぜ掃海艇派遣か?

◇資料と解説◇ソ連で拡大するストライキの波

領土問題の段階的譲歩?

民族紛争で揺らぐソ連の屋台骨

読者からのおたより

連合が「安保、自衛隊、原発問題」討議へ

No. 471(一九九一年五月二一日)

◇巻頭言◇戦後の転換点、そして国労闘争

保革相乗りの結末―札幌市長選をふり返って―

追い風・向かい風?統一地方選

総評書地区労解散に抗して

―統一地方選の教訓と課題―

資料1 地方選結果に対する意見

資料2 掃海艇派遣に反対し、自衛隊によらない協力を求める申し入れ書

◇全通の仲間からの報告◇

職場復帰という政治結着から一転全員不合格

解決の日をこの手につかむ―一年越した国労闘争団―

重大局面迎えた国労闘争

―職場から民主主義の実践を―

資料3 東日本出向差別事件

中間的整理と今後の闘い(国労)

読者からのおたより

No.472(一九九一年六月一日)

◇巻頭言◇大衆に依拠した社会党の再生を

社会党の基本政策転換を許さない―社会党をめぐる情勢について―
社会党のどこをかえるべきか

国労組合員は素晴らしい―北海道の国労闘争団を訪ねて―

資料1 中労委会長への「申し入れ」(名寄闘争団・家族会)
メーデーで感じたこと

◇資料と解説◇全通が「四書二八処分」問題で臨中

資料2 全通臨時中央委議案

国鉄「分割・民営化」五年目を検証する

連続シンポジウムご参加を

読者からのおたより

No.473(一九九一年六月一日)

◇巻頭言◇国労、そして社会党の仲間たちへ岩井章

資料1 全組合員で討議を深めよう(国労中央支部)

資料2 出向事件の中間総括とこれからの運動(国労東日本・要旨)

資料3 出向に関する確認事項(案・国労東日本)

社会党「改革」論の背景①―被告が原告席に立つ不思議―

資料4 実現できる党改革の提言(党建協)

平和と民主主義を守る行動を

護憲の党を守ろう!

組合民主主義はどこに―非公開、警察要請の全通臨時中央委―

原告の意志を尊重せよ

No.474(一九九一年六月二日)

◇巻頭言◇社会党「改革」論のゆくえ

◇資料と解説◇党建協が党改革で批判と提言

資料1 党改革論議の批判と提言(党建協)

社会党基本政策「見直し」に狂奔する連合―社会党「改革」論の背景―

資料2 党改革委員会スケジュール

資料3 討議を進めるにあたって(第二回改革委員会)

資料4 党改革への提言(要旨、政構研)

資料5 社会党に対する私達の期待(総評センター)

◇富山の仲間からの報告◇

「国鉄闘争に連帯する県民集会」に千四十九名

信楽高原鉄道殺人事件

読者からのおたより

社会党を守る!七・二集会に参加しよう

No.475(一九九一年七月一日)

◇巻頭言◇党の基本政策を守れ

政・財・官・労・マスコミ批判に屈するな

資料1 党の主体性強化が第一(高沢寅男)

資料2 理念欠く自衛隊合憲論(国弘正雄)

資料3 日本社会党高知県本部大会「決議」

資料4 「憲法を大切にする会」(仮称)設立よびかけ

全電通は自衛隊合憲論に転換―社会党「改革」論の背景③―

資料5 「党改革」に関する意見書(自治労富山県本部党員協)

社会主義協会が創立四〇周年

読者からのおたより

No.476(一九九一年七月一日)

◇巻頭言◇社会党「改革」、雲仙、小選挙区制導入

今、平和憲法と国際貢献を問う

自衛隊海外派兵への足跡

「薩長連合」のすすめ―社会党解体を阻止するために―

党臨時大会を国労修善寺大会に

統一地方選総括で論議

資料社会党改革委員会「中間報告」(要旨)

職場討議を組織し、職場抵抗闘争の組織化を

―国労東日本「出向差別事件」問題をめぐって―

連合内にリ解党リ策す二つのグループ―社会党「改革」論の背景④―

読者からのおたより

No.477(一九九一年七月二一日)

特集社会党「改革」、委員長公選に寄せて

◇巻頭言◇護憲の党にふさわしい委員長を

資料① 護憲の党を貫くために 上田哲

資料② 公選にあたっての提言 上田哲

資料③ 上田哲さんを委員長に推す会(代表田畑忍)

護憲の党のため上田哲君を委員長に推す

資料④ 労研センターが党「改革」で意見と要請

改革委報告の結論は了承できず

資料⑤ 社会主義協会四〇周年アピール

平和と民主主義の憲法を守りぬく

資料⑥ 社会党群馬県本部三役と市民団体の対話集会

資料⑦ いまこそリ護憲政党リの誇りと

運動の強化を(岡崎ひろみ)

勝つまで闘う準備に全力―一年を総括し、二年目の闘いへ―

読者からのおたより

No.478(一九九一年八月一日)

◇巻頭言◇国民政党と階級政党

党改革はどこが問題か―臨時党大会へ向け全力を―

社会党の危機は民主主義の危機

資料1 社会党富山県本部富山総支部意見書(一九九一・七・八) ◇

下から運動を支えるための十四の教訓

やりがいある階級情勢―全電通の職場状況からの提起①―

資料2 主要労組の大会日程

◇読者からのおたより◇編集部だより

No.479(一九九一年八月一日)

◇巻頭言◇職場から民主主義の質を高めよう

上田氏善戦を社会党大会へ―マスコミ論調をぶつつぶせ―

「国際貢献」をスツパリ切って

特集・労働組合大会をふり返る①

報告① 労働運動のゆくえは政治に直結

報告② 連合という組合の三つの原則

報告③ 社会党委員長選挙に露骨な介入

報告④ 労働運動をめぐる実践的諸問題

報告⑤ 「電機総連構想」を提案

報告⑥ 全電通は「自衛隊合意」論へ

報告⑦ 修正案、三八件受け入れへ(日教組)

報告⑧ 「四・二八」問題

中心に激しい論議(全通)

報告⑨ 全郵政は全通の提案を拒否

◇新潟党建協◇「党改革のための基本方向について」の意見書

資料ニュー―社会党推進懇談会

自衛隊を容認し、現実的改革と対応を

読者からのおたより

No.480(一九九一年八月二一日)

◇巻頭言◇われわれの護憲・良心宣言

原案修正、田辺氏〃敗北〃―社会党臨時大会の意義と課題―

資料1 社会党沖縄県本部「意見書」

資料2 社会党佐賀県本部「意見書」

資料3 社会党福島県本部「意見書」

資料4 社会党宮崎県本部「意見書」

資料5 社会党宮城県本部「意見書」

資料6 社会党香川県本部「意見書」

資料7 つらぬけ憲法!燃えよ社会党

資料8 党改革案に対する修正案(一六県)

仮説で考える田辺「勝利」の実像

読者からのおたより

No.481(一九九一年九月一日)

特集・ガンバレ国労、国労闘争団

◇巻頭言◇国鉄「分割・民営」から五年、

彼我の弱点と課題①

国鉄「分割・民営」、労働政策でも破綻―はじまったJR総連の分裂と迷走①―

国鉄・じん肺・水俣病九州現地行動の報告

◇国労音威子府闘争団からの報告◇

私たちの闘い、四つの課題

◇国鉄労働組合からの要請◇

九・四日比谷集会、一日行動に参加を！

「全労協・労研センターブロック」を指向―労研センター第九回総会から―

社会党委員長公選と労働運動

語り継ごう、ヒロシマナガサキの心を

No.482(一九九一年九月一日)

◇巻頭言◇国鉄闘争でまなびたたかう灰原茂雄

現在のソ連情勢について①

国鉄「分割・民営」、労働政策でも破綻―はじまったJR総連の分裂と迷走②―

国鉄闘争・田畑忍氏・社会党

防衛白書と「国民の自衛隊」

読者からのおたより

「党建協」結成四周年記念講演会にご参加を

No.483(一九九一年九月二一日)

◇巻頭言◇自民党の支持基盤は動揺

国鉄「分・民」から五年、

彼我の弱点と課題②

職場実態、政治反動から反撃を―日教組大会の報告―

組織拡大に活動を集中―国労新幹線支部からの報告―

「胸章」の強制を許すな―全通の仲間からの報告―

がむしやらに働いてきたこの八ヶ月―国労博多闘争団の報告―

人間的成長が組織強化への第一歩―全電通の職場状況から―

社会主義と民主主義―現在のソ連情勢について②―

読者からのおたより

九・二五市民集会にご参加を

No.484(一九九一年一〇月一日)

特集国労第五六回大会の紹介と位置

◇巻頭言◇自民党支持基盤は崩壊の瀬戸際へ

国鉄「分・民」から五年、

彼我の弱点と課題③

さあ、職場・地域から、

国労闘争の勝利にむけ闘いを強めよう

資料1採用差別事件の

早期全面解決をかちとる決議

資料2今後の労働委員会闘争の展開について(国労大会「追加方針」)

資料3JR関係採用差別事件の

早期解決に関する要請

資料4中労委会長総会発言要旨

(九一・九・四)

資料5中労委会長発言へのJR東の談話

社会党の分裂攻撃にふみだす

―連合の政治路線の動向について―

社会主義の思想と計画経済

―現在のソ連情勢について③

書評大系「現代の世界と日本」(全四巻)

読者からのおたより

No.485(一九九一年一〇月一日)

◇巻頭言◇キューバを売ったゴルバチョフ

自衛隊海外派兵を阻止し、

憲法擁護の国民戦線を

―党建協が第五回総会で方針―

資料1情勢の特徴と活動方針(党建協)

資料2海外派兵阻止への緊急アピール

(党建協)

◇国労大会を傍聴して◇

人事でリ体会りは残念

国労は「闘う方針」と「人事」を一体化せよ

◇現在のソ連情勢について④◇

激発する民族問題

―明日のソ連を予測する東欧各国―

読者からのおたより

No.486(一九九一年一〇月二一日)

特集労働組合大会をふり返る②

◇巻頭言◇国労全国大会を終えて

資料採用差別事件の年内解決に向けた決議

九・二五PKO法案反対集会成功―院外大衆行動再生の突破口に―

◇労働組合大会をふり返る②◇

報告① 口もですが、金も票もだす(鉄鋼労連)

報告② 千八百時間達成は九〇年代半ば(自動車)

報告③ 社会党左派排除を要求(ゼンセン)

報告④ 労資関係には緊張感が必要(造船重機)

報告⑤ 総評労働運動の伝統を守る(私鉄)

報告⑥ 本部方針に異論続出(自治労)

報告⑦ 日経連の基本は従来どおり

読者からのおたより

No.487(一九九一年一月一日)

◇兵庫の仲間からの問題提起

「偉大な実験」の中間的総括運動を

「国労闘争支援本部」を設置―全労協第三回大会の報告―

資料「全労協」運動方針(要旨)

◇ソ連の現状について⑤◇八月事件後のソ連

ソ連はどこへ行く?

私は田辺委員長を信頼しない

資料2中労委に決断をせまる

秋年末闘争行動計画(国労)

No.488(一九九一年一月二一日)

◇巻頭言◇職場に民主主義はあるか

新たな植民地政策の始まり―中南米にみる帝国主義の諸相―

つぶせPKO法案・生かせ、憲法九条

十一・二〇全国集会に参加しよう

〃国鉄闘争〃出向現場からの報告

日の丸・君が代反対の闘いのなかで

旧東欧社会主義圏の公害問題

―坂牛氏の東欧訪問記を読む―

クーデター渦中のソ連訪問

静岡県評、「全労連」への加入を強行

読者からのおたより

国労「十一・十団結まつり」にご参加を

No.489(一九九一年一月二一日)

◇巻頭言◇PKO法案と日本の進路

なぜ、いまPKOなのか―PKO法案の背景と本質―

PKO法案反対、二つの集会―十一・二〇集会に参加しよう―

◇資料と解説◇

〓社会党ジャック〓もくろむ

「連合の政治方針」

資料「連合の政治方針」についての答申①

団結がより具体化してきた闘争団―国労北海道激励行動に参加して―

二年の闘いで心に余裕―国労闘争団全国代表者会議から―

No.490(一九九一年二月一日)

◇巻頭言◇憲法が危ない！PKO法案を阻止しよう

◇資料と解説◇社会党とPKO法案

資料1 PKO問題に関する見解(憲法を活かす会)

資料2 社会党のPKO法律案の

見直しを求める意見書

ぬくもりある仲間づくり、団結を―教育現場で考えること―

◇新たな国際情勢を考える①◇

アメリカの新たな世界戦略と朝鮮半島

読者からのおたより

No.491(一九九一年二月二一日)

◇巻頭言◇大衆運動ほど楽しいものはない

自立した地区労の全国ネットワークを

―第三回地域活動家交流討論集会―

東京地域における労働戦線再編成の現段階

と全労協運動の新たな出発

資料1総評センター解散に向けての検討課題

資料2「ポスト地区労」の組織態勢確立に

あたって(東京地評センター)

◇投稿◇新たな国際情勢を考える②

ソ連・東欧の变革を前向きにとらえよう

『寝たきり老人』のいる国いない国

―真の豊かさへの挑戦―を読む―

六人の仲間が国労に加入

―組織拡大で国労闘争勝利へ!―

八%を中心に、二万円以上が連合の要求

読者からのおたより

No.492(一九九一年二月二日)

◇巻頭言◇社会党運動方針案を読む
前代未聞の強行採決

― P K O 法案の問題点と国会審議―
ヤマ場迎えた P K O 法案と

社会党をめぐる情勢

中央と地方のズレに発展の契機

― 第二八回護憲国民会議に参加して―

十一・二〇集会の成功を

護憲、社会党防衛の力へ

求心力の拡散を露呈

― 連合第二回大会の特徴―

読者からのおたより